

| 都城工業高等専門学校 | | 開講年度 | 平成29年度 (2017年度) | 授業科目 | 保健体育 |
|--|---|-----------------------------|---|---|------|
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0007 | | 科目区分 | 一般 / 必修 | |
| 授業形態 | 実技 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 3 | |
| 開設学科 | 電気情報工学科 | | 対象学年 | 1 | |
| 開設期 | 通年 | | 週時間数 | 3 | |
| 教科書/教材 | 現代高等保健体育 (大修館書店), 現代高等保健体育ノート (大修館書店) アクティブスポーツ【総合版】 (大修館書店) | | | | |
| 担当教員 | 永松 幸一 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1) 保健および体育に関する知識を理解する。 2) 運動やスポーツの合理的な実践や健康の増進および体力の向上に活用できる能力や態度を身に付ける。 3) 各種の運動やスポーツの基礎的な技術や技能と審判法を習得する。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 最低到達レベルの目安(可) | | |
| 評価項目1 | 保健および体育に関する知識を理解し、日常に活かすことができる。 | 保健および体育に関する知識を理解している。 | 保健および体育に関する知識を一部理解している。 | | |
| 評価項目2 | 合理的な実践や健康および体力の向上を考えながら、運動やスポーツに取り組むことができる。 | 運動やスポーツに取り組むことができる。 | 運動やスポーツの見学はできる。 | | |
| 評価項目3 | 運動やスポーツの基礎的な技術や技能などを理解し、それらを実際の活動に活かすことができる。 | 運動やスポーツの基礎的な技術や技能などを理解している。 | 運動やスポーツの基礎的な技術や技能などを一部理解している。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 学習・教育目標・サブ目標との対応 3-3 学習・教育目標・サブ目標との対応 4-3 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 保健および体育に関する知識を理解し、運動やスポーツの合理的な実践や健康の増進および体力の向上に活用できる能力や態度を育てる。各種の運動やスポーツの特性について理解し、これらの基礎的な技術や技能と審判法を習得する。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 体育実技では指示された服装や用具 (体操服・体育館シューズなど)、保健では指示された教科書およびノートを準備して授業に臨むこと。日常的に自己の健康および安全に留意しておくこと。今までの運動やスポーツ経験をもとにして、授業で取り組む種目などを選択できるようにしておくこと。 | | | | |
| 注意点 | | | | | |
| ポートフォリオ | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | 授業計画・達成目標・成績の評価方法等の説明 | | |
| | | 2週 | スポーツテスト | 各種スポーツテストを行い、自己の体力を把握する。 | |
| | | 3週 | 球技 (バレーボール) | 基礎的な技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 | |
| | | 4週 | 現代社会と健康 私たちの健康のすがた、生活習慣病とその予防についての学習 | 私たちの健康のすがた、生活習慣病とその予防、食事・運動・睡眠と休養と健康について理解する。 | |
| | | 5週 | 球技 (バレーボール) | 基礎的な技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 | |
| | | 6週 | 球技 (バレーボール) | 基礎的な技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 | |
| | | 7週 | 球技 (バレーボール) | 基礎的な技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 | |
| | | 8週 | 水泳 (クロール・背泳ぎ) | 各種泳法で25m泳げるようになる。 | |
| | 2ndQ | 9週 | 水泳 (クロール・背泳ぎ) | 各種泳法で25m泳げるようになる。 | |
| | | 10週 | 水泳 (クロール・背泳ぎ) | 各種泳法で25m泳げるようになる。 | |
| | | 11週 | 現代社会と健康 応急手当の意義とその基本、心肺蘇生法の原理についての学習 | 応急手当の意義とその基本、心肺蘇生法の原理について理解する。 | |
| | | 12週 | 球技 (バレーボール) | 基礎的な技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 | |
| | | 13週 | 球技 (バレーボール) | 基礎的な技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 | |
| | | 14週 | 球技 (バレーボール) | 基礎的な技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 | |
| | | 15週 | 球技 (バレーボール) | 基礎的な技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 | |
| | | 16週 | 前期末試験 | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 陸上競技 (ハードル走) | ハードル技術を身に付け、リズムよく走ることができる。 | |
| | | 2週 | 陸上競技 (ハードル走) | ハードル技術を身に付け、リズムよく走ることができる。 | |
| | | 3週 | 陸上競技 (ハードル走) | ハードル技術を身に付け、リズムよく走ることができる。 | |

| | | | |
|------|-----|--|--|
| 4thQ | 4週 | 球技（選択種目制） | 基礎的技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 |
| | 5週 | 現代社会と健康 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康、感染症・性感染症・エイズに関する学習 | 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康、感染症・性感染症・エイズとその予防について理解する。 |
| | 6週 | 球技（選択種目制） | 基礎的技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 |
| | 7週 | 球技（選択種目制） | 基礎的技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 |
| | 8週 | 陸上競技（持久走） | 安全に配慮しながら、持久力向上を目指すことができる。 |
| | 9週 | 陸上競技（持久走） | 安全に配慮しながら、持久力向上を目指すことができる。 |
| | 10週 | 陸上競技（持久走） | 安全に配慮しながら、持久力向上を目指すことができる。 |
| | 11週 | 球技（選択種目制） | 基礎的技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 |
| | 12週 | 球技（選択種目制） | 基礎的技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 |
| | 13週 | 球技（選択種目制） | 基礎的技術や技能を習得し、ゲームができるようになる。 |
| | 14週 | 現代社会と健康 欲求と適応機制、心身の相関とストレス、ストレスへの対処に関する学習 | 欲求と適応機制、心身の相関とストレス、ストレスへの対処について理解する。 |
| | 15週 | 現代社会と健康 自己実現、交通事故の現状と要因に関する学習 | 自己実現、交通事故の現状と要因について理解する。 |
| | 16週 | 学年末試験 | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|---------|-------------|--------|--|-------|-----------------------------|
| 分野横断的能力 | 態度・志向性(人間力) | 態度・志向性 | 身内の中で、周囲の状況を改善すべく、自身の能力を発揮できる。 | 2 | 後4,後6,後7,後11,後12,後13 |
| | | | 集団の中で、自身の能力を発揮して、組織の勢いを向上できる。 | 2 | 後4,後6,後7,後11,後12,後13 |
| | | | 日常生活の時間管理、健康管理、金銭管理などができる。常に良い状態を維持するための努力を怠らない。 | 1 | 後14,後15 |
| | | | ストレスやプレッシャーに対し、自分自身をよく知り、解決を試みる行動をとることができる。日常生活の管理ができるとともに、目標達成のために対処することができる。 | 1 | 後14,後15 |
| | | | 学生であっても社会全体を構成している一員としての意識を持って、行動することができる。 | 1 | |
| | | | 市民として社会の一員であることを理解し、社会に大きなマイナス影響を及ぼす行為を戒める。人間性・教養、モラルなど、社会的・地球的観点から物事を考えることができる。 | 1 | |
| | | | チームワークの必要性・ルール・マナーを理解し、自分の感情の抑制、コントロールをし、他者の意見を尊重し、適切なコミュニケーションを持つとともに、当事者意識を持ち協調して共同作業・研究をすすめることができる。 | 1 | 前3,前5,前6,前7,前12,前13,前14,前15 |
| | | | 組織やチームの目標や役割を理解し、他者の意見を尊重しながら、適切なコミュニケーションを持つとともに、成果をあげるために役割を超えた行動をとるなど、柔軟性を持った行動をとることができる。 | 1 | 前3,前5,前6,前7,前12,前13,前14,前15 |
| | | | 先にたって行動の模範を示すことができる。口頭などで説明し、他者に対し適切な協調行動を促し、共同作業・研究をすすめることができる。 | 1 | 後4,後6,後7,後11,後12,後13 |
| | | | 目指すべき方向性を示し、先立って行動の模範を示すことで他者に適切な協調行動を促し、共同作業・研究において、系統的に成果を生み出すことができる。リーダーシップを発揮するために、常に情報収集や相談を怠らず自身の判断力をも磨くことができる。 | 1 | 後4,後6,後7,後11,後12,後13 |
| | | | 法令を理解し遵守する。基本的な人権について理解し、他者のおかれている状況を理解することができる。自分が関係している技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者が社会に負っている責任を認識している。 | 1 | 後5 |
| | | | 法令を理解し遵守する。研究などで使用する、他者のおかれている状況を理解できる。自分が関係している技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者が社会に負っている責任を認識し、身近で起こる関連した情報や見解の収集に努めるなど、技術の成果が社会に受け入れられるよう行動できる。 | 1 | 後5 |
| | | | 未来の多くの可能性から技術の発展と持続的社会的在り方を理解し、自らのキャリアを考えることができる。 | 1 | 後14,後15 |
| | | | 技術の発展と持続的社会的在り方に関する知識を有し、未来社会を考察することができるとともに、技術の創造や自らのキャリアをデザインすることが考慮できる。 | 1 | 後14,後15 |

評価割合

| | 試験 | レポート | 成果品実技 | その他 | 合計 |
|--------|----|------|-------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 25 | 5 | 40 | 30 | 100 |
| 基礎的能力 | 15 | 0 | 10 | 0 | 25 |

| | | | | | |
|-------------------|----|---|----|----|----|
| 思考・推論・創造への 適応力 | 10 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 態度・志向性 | 0 | 0 | 10 | 20 | 30 |
| 総合的な学習経験 | 0 | 5 | 20 | 10 | 35 |